

令和元年度 地域自立支援協議会交流会 実施報告

3 プログラム構成のねらい

(第1回本会議グループ討議及び実行委員による検討より)

1 交流会のテーマ設定理由

- 昨年度の交流会、セミナー等で、「当事者の声を直接聴く」ことの大切さに関する声が多数あった。
- そもそも、自立支援協議会委員に障害のある委員はいるのか、障害のある委員がいる場合も実質的な参加ができているのだろうか。
- 障害のある委員は、自立支援協議会で意見を伝えられているのだろうか。
- 地域にいる障害者の声は、自立支援協議会に届いているだろうか。地域で生活する障害者の声を自立支援協議会に吸いあげるために、どのような工夫をすればいいのだろうか。
- 自立支援協議会に参加するために存在する、難しい資料や時間がない中での議論などの様々なバリアは、障害のあるなしに関わらず、全員にとってバリアがあるのではないだろうか。

2 交流会終了後の取組の促進

- グループ討議で意見交換したこと、自分の区市町村に取り入れたいと思った取組や工夫を共有し、地域に持ち帰って考える機会にする。
- 多様な意見やアイデアから、自分が活用できそうな「ヒント」を得て、地域の力で自分達らしい自立支援協議会、自分達らしい当事者との協働の形を作っていたかと良いのではないか。

4 参加者アンケート

回答数：79 (回収率：74.5%)
回答は区市町村からの参加者のみ

ミニシンポジウム

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
29 (36.7%)	46 (58.2%)	3 (3.8%)	1 (1.3%)

グループ討議・全体会

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
28 (35.4%)	48 (60.8%)	3 (3.8%)	0 (0.0%)

<自由意見>

- 今回のテーマは当事者目線に立ったとても良いテーマだったと思う。
- ミニシンポジウムの内容は当事者、自治体の話が聞けて有益だった。
- ミニシンポジウムの後のグループ討議の形式はわかりやすく議論しやすいので良いと思う。ファシリテーターの方が上手にサポートしてくださり、他自治体の話が聞けて参考になった。
- 会の主旨や他区市町村との交流の時間など、都が窓口にならないと形にならないことをやっていることが素晴らしいと思う。
- ミニシンポジウムもグループ討議も時間が短すぎ。テーマに対して時間が短かったと思う。
- グループ討議の時間をもう少し取れば良かったと思った。
- 午後だけでは時間が足りない。午前にパネルディスカッション、午後には交流など、このぐらいでやってほしい。